

患者さまへのお知らせ・お願い

初診(再診予約外)受付時間等変更のお知らせ

紹介状をお持ちでない初診患者さまおよび再診患者さまの受付時間等を、下記のとおり変更いたしました。

【変更内容】

平日の初診(再診予約外)受付時間(診療科によって、終了時間が異なる場合がございます)

【現行】8:30~14:00 【新規】**8:30~12:00**

紹介状をお持ちでない方の初診予約の廃止

メンタルケアセンターを除き、電話・FAX・E-メールでの予約受付を廃止とします。

予約センター受付時間

【現行】13:00~17:00 【新規】**9:00~17:00**

予約電話混雑解消のため、受付時間を拡大いたしました。

予約に関するお問い合わせは、初診受付 045-949-7150 予約センター045-949-7489 まで。

ロビーコンサートのお知らせ

- ◆ 2月 6日(水) 渡辺 静さん他 (ピアノ演奏会 連弾)
- ◆ 2月 22日(金) 埜(たお)真美さん他 (ピアノ演奏会 連弾)
- ◆ 3月 14日(金) 戸嶋郁子さん・市川恵美さん (ピアノ演奏会 連弾)
- ◆ 3月 27日(木) 遠藤 美香さん他 (フルート演奏会)

中央棟 1階会計前ロビーにて、19:00より開催いたします。30分間の演奏会です。是非、お越しください。

コンサート予定表は、各病棟掲示板および会計前ロビーにて掲載しております。

曲目につきましては、コンサート当日、会計前ロビーにて掲示いたします。ご確認ください。

患者様からのご意見・ご要望

日々患者さまより頂きましたご意見・ご要望に関しては関連する部署の責任者に報告しております。改善すべき点や取り入れたほうが良いことなど出来る限り対応したいと考えております。ご意見の中で特に危険なこと、多くの方が希望していることを優先に対応したいと考えております。もちろん少数意見も対応させて頂いております。

前回に引き続き、今までのご意見の中で多くいただいたものや最近よくいただくご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させていただきます。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。

今後もお気付きの点やご要望をお聞かせください。 (= 進捗報告)

ご意見・ご要望	改善等
予約受付時間について	『電話で予約しようとしたが、何回かけても混雑しており、電話予約が機能していないばかり。改善するか、電話予約のシステムをやめて欲しい。』と複数のご意見をいただきました。 大変ご不便をおかけし、すみませんでした。改善検討を行い12月より受付時間を拡大いたしました。 受付時間 9:00~17:00 午前中も予約受付可能としました。それでも時間帯や曜日によってつながりにくいこともございます。ご理解のほどよろしく願いいたします。
ファックスについて	『有料でかまわないので、FAXをどこかに設置してほしい』とのご要望をいただきました。 売店内に設置してありますので、ご利用ください。ただし、送信のみの使用に限ります。受信サービスは行っておりません。 送信料...1枚50円 取扱サイズ...最大A4版 利用時間...売店営業時間内 ご利用の際は、売店スタッフにお声かけください。

編集後記

皆さんはどのように新年をお過ごしになったのでしょうか？
1月も後半となりまして、今までが暖冬と言われていたせいでしょうか？ 冬ってこんなに寒かったかしら???と思うほど、身に染みる寒さを感じます。

さて、この冬のインフルエンザの流行は、例年より早くから始まりました。そろそろ落ち着く頃かと思いきや、院内では、いまだに検出は持続しております。うつらない・うつさないためにマスクの着用等の予防を心掛けましょう。

何と言っても健康第一!!! 始まったばかりの2008年、気分一新、目標新たに元気に力いっぱい頑張りましょう。

広報委員会 委員 堀ノ内陽子

北部病院だより 第48号

平成20年2月1日発行

発行責任者 田口 進(昭和大学横浜市北部病院長)

編集責任者 島田 誠(広報委員会 委員長)

発行 昭和大学横浜市北部病院

〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話 045-949-7000(代表)

URL : <http://www10.showa-u.ac.jp/~hokubu/>

北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』が参照できます。

北部病院だより

第48号

第48号【2008/2/1 発行】

発行者：昭和大学横浜市北部病院

巻頭言

『甲状腺ホルモンって、女性ホルモンですか？』
～内分泌外科の役割について～
外科 准教授 福成 信博

イベント情報

BLS・ACLS講習会

医師の配属・異動・退職

診療統計

外来担当表

患者さまへのお知らせ・お願い

ロビーコンサートのお知らせ

患者様からのご意見・ご要望

巻頭言

『甲状腺ホルモンって、女性ホルモンですか？』 ～内分泌外科の役割について～



外科 准教授 福成 信博

甲状腺ホルモンって女性ホルモンのこと？」「ステロイドホルモンと関係があるのですか？」このような質問を外来でたびたび受けます。ホルモン(Hormone)とは、動物の体内において、ある決まった器官で合成・分泌され、体液(血液)を通して体内を循環し、別の決まった器官でその効果を発揮する生理活性物質のことを呼びます。さすがに病院で「ホルモン焼き」のことを話す方はおられません、皆さん「ホルモン」という言葉に偏ったイメージを持たれている場合が多いようです。それだけ性ホルモンやステロイドホルモンといった話題が新聞などに掲載されることが多く、印象が強いものだと思います。私が専門としている内分泌外科とは、ホルモンを体内(血液中)に分泌する臓器-内分泌臓器を対象とするものです。ちなみに内分泌に対する言葉としてホルモンを体外(消化管の内腔を含む)に分泌する「外分泌」という言葉もあります。内分泌外科の一番多い患者さんは甲状腺の病気ですが、甲状腺以外にも副甲状腺(カルシウム調整のホルモン分泌を司る臓器)や副腎、膵臓などの病気が対象となります。内分泌臓器としては、脳の下垂体、卵巣なども含まれますが、それらは脳外科、婦人科で担当されています。それぞれの臓器で様々な病態を呈しますが、人間の体の中のホルモン代謝調整は脳からの指令で各臓器が必要なホルモンを作りだし、体の中にそのホルモンが分配され、その時の状況に足りているかどうかの情報を司令センターである脳に送りかえすことで上手く調整されています。これを「ホメオスタシス」と呼び、ストレスになりうる外界の環境の変化に対して、生体を安定した恒常の状態に保とうとする仕組みができています。この状態に何らかの異常が起きている場合、内分泌疾患異常ということになり、その場合には司令センターである脳、下垂体の異常もあれば、ホルモンを産生する工場である甲状腺などの異常、そして稀ではありますがホルモンの分配における異常(ホルモン受容体の異常)などが含まれます。ですから、ホルモンの病気といっても脳から出される刺激ホルモンや各臓器によって様々な数多く種類があり、病気の種類によってはその検査は複雑を極め、1つの臓器だけではなく、体中の臓器との関連を考えなければいけない状態となるのです。わかりやすい例を提示しましょう。

『58歳女性 最近疲れやすく、足のむくみ、便秘、冷え性に困っています。健診でコレステロールが高いといわれ心配です』

このような訴えは非常に多く、更年期障害、高脂血症として扱われていることが多いのですが、実は甲状腺機能低下症に起因するものが少なからず含まれています。最近では検診などでも血液検査で甲状腺刺激ホルモン(TSH)を測定される機会もふえ、臨床的には発見されることも多くなってきていますが、未だに甲状腺の病気とは判断されずに、放置されている場合もしばしば見かけます。また最近の海外からの報告では甲状腺機能低下症の場合は、正常人に比べて「ウツ状態」になりやすいという報告もされています。甲状腺機能低下症は、甲状腺ホルモン剤(チラーゼンS)の投薬で調整することは可能ですが、甲状腺自体のホルモン産生低下(橋本病)以外にも、わかめ、昆布などのヨード多量摂取や他のお薬によって2次的に甲状腺ホルモンが低下している場合もあり、適切な診断が欠かせません。またホルモン剤の投与自体に関しても、過量投与により心臓への影響や骨塩の低下(骨粗鬆症)を引き起こすこともあり、十分な注意が必要です。

内科的な話に終始してしまいましたが、外科医としての内分泌外科、甲状腺外科の仕事のメインは、やはり甲状腺腫瘍の診断と治療です。しこりがあれば、「悪性の疑い」として何でも手術するのではなく、その方に合わせた適切な治療方針を組み立て、最善の治療を行うことが外科医の最終的な使命ですから、手術以外の治療法に関しても、最新の方法を積極的に取り入れた治療を行い、手術に関してもできる限り身体に影響の少ない方法を導入しています。また、手術を受ける患者さんの80%以上は女性の方であり、どなたも頸の手術痕を気にされますが、できる限り小さな切開法で十分な手術成績を上げることができていますので、心配されている方は、いつでもご相談ください。内分泌、甲状腺の診断、治療は10年前と比較しても、画像診断、血液検査、手術器具に関して飛躍的な進歩を遂げています。特に画像診断では2-3mmの微小癌を見つけることも容易な時代となってきています。このような医療技術の進歩に合わせた適切な診断と治療を今後も行っていきたいと考えています。

北部イベント

BLS, ACLS講習会

7月15日(日)、7月16日(月)の2日間にわたり当院でBLS (Basic Life Support) およびACLS (Advanced Cardiovascular Life Support) コースがアメリカ心臓協会 (AHA: American Heart Association) 主催の横浜トレーニングサイトにより開催されました。

コースは、講義だけではなくゲーム (蘇生人形) やシミュレータを使い心肺蘇生の現場を再現して行われる実技講習会です。コースを通して質の高い心肺蘇生法を体験しながら勉強します。

ところで皆さんは救急蘇生法をご存知ですか? 救急蘇生法とは、心停止や窒息などに遭遇した際に、直ちに行うべき一次救命処置 (BLS) と、その後医療従事者によって行われる二次救命処置 (ACLS) に大別されます。また市民が行う止血などの応急処置 (first aids) も救急蘇生法に含まれます。

一次救命処置には、心停止に対する心臓マッサージのための胸骨圧迫と人工呼吸 (心肺蘇生: CPR cardiopulmonary resuscitation)、自動体外式自動除細動器 (AED: automated external defibrillator) を用いた除細動、窒息に対する気道異物除去が含まれます。一次救命処置は、感染防御具とAED以外に特別な資器材は必要としません。心肺停止に遭遇した場合は、直ちに一次救命処置から開始して応援と必要な資器材が揃ってから二次救命処置に移行します。

二次救命処置には除細動、心停止の原因検索と解除、静脈路の確保と薬物投与、高度な気道確保および心停止の原因となりうる不整脈や脳卒中の初期対応も含まれます。

つい最近まで心肺蘇生法は、いろいろな施設や団体により経験を通して各々の方法で行われてきました。これに対し2000年、AHAと国際蘇生連絡委員会 (ILCOR: International Liaison Committee on Resuscitation) により心配蘇生法の標準化を目的とした医学根拠 (EBM: evidence based medicine) に基づいたガイドライン2000が発表され、世界の主要な国で取り入れられました。今回、問題点を検討し更に改定されたガイドライン2005に準拠したBLS、ACLSコースを同時開催しました。参加人数は、2日間でBLS 40名、ACLS 20名です。今後は年2回程度を定期開催する予定です (次回は2008年2月)。興味のある方は、是非参加して正しい心肺蘇生法を身につけてください。

横浜トレーニングサイトHP: http://www.geocities.jp/yokohama_ts/



講習会風景

医師の配属・異動・退職

新規配属医師

2/1付【12/1~2/1】

【新規採用】

山邊 陽子 (循環器C)
岡山大学
平成6年卒

大下 優介 (整形外科)
昭和大学
平成13年卒

向井 俊平 (消化器C)
徳島大学
平成15年卒

斉藤 佳実 (産婦人科)
帝京大学
平成15年卒

野村 智史 (消化器C)
名古屋大学
平成16年卒

【配置転換】

河面 倫有 (脳神経外科)
昭和大学医学部
脳神経外科学教室より

保坂 浩臣 (皮膚科)
昭和大学医学部
皮膚科学教室より

吉江 正紀 (産婦人科)
昭和大学医学部
産婦人科学教室より

異動・退職医師

1/31付【11/30~1/31】

【異動】 村上 幸三 (脳神経外科) 昭和大学医学部脳神経外科学教室へ

【長期出張】 小谷 美帆子 (産婦人科) 小形 典之 (消化器C) 三澤 将史 (消化器C)

【退職】 石田 将也 (整形外科) 鈴木 佳宣 (皮膚科) 栗生 和幸 (呼吸器C)

日高 英二 (消化器C) 安藤 直子 (産婦人科) 久保かずえ (消化器C)

松村 卓美 (皮膚科)

診療統計

2007年11・12月統計データ ()内は1日平均

診療実日数 入院...30日(11月) 31日(12月) 外来...23日(11月) 23日(12月)

	外来患者数	入院患者数	救急搬送数	手術件数
11月	32,429人(1,410.0人)	17,640人(588.0人)	326件(10.5件)	527件(26.4件)
12月	32,988人(1,434.3人)	17,657人(569.6人)	410件(13.2件)	505件(26.6件)

外来担当表

外来予定は都合により変更する場合がございますのでご了承ください。

平成20年2月1日改訂

	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
呼吸器センター	佐藤庸子 (初診)	鹿間裕介 (再診)	中島宏昭 (紹介初診)		神尾義人 (初診)	鹿間裕介 (再診)	鹿間裕介 (初診)	笠原慶太 (初診)	北見・澁谷 (初診)	医局員 (初診)	医局員 (初診)	
	鹿間裕介 (初)	笠原慶太 (再)	笠原慶太 (初)	中島宏昭 (再)	鹿間裕介 (初)	北見明彦 (再)		神尾義人 (再)	中島宏昭 (再)	中島宏昭 (再)		
	北見明彦 (再)		鹿間裕介 (再)						笠原慶太 (再)	佐藤庸子 (再)		
消化器センター	医局員	大塚和朗	田中淳一	辰川貴志子(1.3)	請川淳一	請川淳一	里館 均	里館 均	大塚和朗	大塚和朗	医局員	
	齋藤由理	出口義雄	井上晴洋	井上晴洋	児玉健太	児玉健太	長山裕之	池原伸直	医局員	春日井尚	木田裕之	
	乾 正幸	乾 正幸	工藤進英	近藤純史	日高英二	日高英二	医局員	宮地英行	細谷寿久	細谷寿久		
	山村冬彦	山村冬彦			石田文生	辰川貴志子(2.4)	櫻田博史	工藤進英(特診)	遠藤俊吾			
					岩下方彰(2)							
循環器センター	磯村直栄		落合正彦		小原千明		荒木 浩		芦田和博		医局員	
		黒子洋介 (血管外科)	斉藤重男	星本剛一		石野幸三 (心臓外科)		藤倉寿利	御子柴幸	上村 茂 (先天性心疾患)	西巻博(第3)	
	伊藤篤志 (心臓血管外科)	星本剛一	上村 茂 (先天性心疾患)	山邊陽子 (先天性心疾患)	伊藤篤志 (心臓血管外科)		富田 英 (先天性心疾患)		伊藤篤志 (心臓血管外科)		伊藤篤志 (心臓血管外科)	
メンタルケア(初)	工藤行夫 (精神全般統合失調症)		伊川太郎	伊川太郎	堀 宏治 (物忘れ初診)	堀 宏治 (物忘れ初診)	西岡玄太郎		吉益晴夫		青山 洋	
メンタルケア(再)	板垣太郎		富岡 大	富岡 大	西岡玄太郎	西岡玄太郎	吉益晴夫	吉益晴夫	工藤行夫		堀 宏治	
メンタルケア(再)		青木麻梨	青木麻梨	青木麻梨	内田充彦	内田充彦	黒澤顕三	黒澤顕三	青山 洋	青山 洋	常岡俊昭	
			医局員		伊川太郎	伊川太郎	医局員				常岡俊昭	医局員
内 科(22-5)		高橋 健 (内科腎臓)										
内 科(23-2)	吉田典世 (内科)	山本真寛 (内科)	中澤あい (内科)	吉田典世 (内科)	菊嶋修示 (循環器不整脈)	菊嶋修示 (循環器不整脈)	中澤あい (内科)	内田奈名子 (内科)	菊嶋修示 (循環器不整脈)		菊嶋修示 (循環器不整脈)	
内 科(23-3)	衣笠えり子 (内科腎臓)	福井俊哉 (記憶認知)	内田奈名子 (内科)	内田奈名子 (内科)	衣笠えり子 (内科腎臓)	衣笠えり子 (内科腎臓)	坂下暁子 (内科血液)	坂下暁子 (内科血液)	山本真寛 (内科)	川崎仁志 (内科神経)	医局員	
内 科(23-5)	坂下暁子 (内科血液)	坂下暁子 (内科血液)	福井俊哉 (内科神経)	福井俊哉 (内科神経)	三代川章雄 (内科消化器)	三代川章雄 (内科消化器)	福井俊哉 (内科神経)	福井俊哉 (内科神経)	福井俊哉 (内科神経)	福井俊哉 (内科神経)	三代川章雄 (内科消化器)	
内 科(25-1)	菊池雷太 (内科神経)		斉藤佑介 (内科)	中山文義 (腎第1火休診)	菊池雷太 (内科神経)			滝西安隆 (内科)	滝西安隆 (内科)		大野恭史 (内科)	
内 科(25-2)		井上 稔 (内分泌・代謝)	溝渕正英 (内科腎臓)		木村 聡 (内科・感染症)						医局員	医局員
内 科(25-3)	田口 進 (内科消化器)	小林功治 (内科)			溝渕正英 (内科腎臓)	小林功治 (内科)	田口 進 (内科消化器)					渡瀬浩之(1.3) (内科)
内 科(25-5)	荻原 徹 (糖尿病、内分泌)		嶋田 顕 (内科腫瘍)		荻原 徹 (糖尿病、内分泌)		嶋田 顕 (内科腫瘍)	嶋田 顕 (内科腫瘍)	荻原 徹 (糖尿病、内分泌)	富田高重(第1) (内科消化器)	荻原 徹 (糖尿病、内分泌)	
内 科(25-6)	竹島亜希子 (内科)	伊東友弘 (内科腫瘍)		大野恭史 (内科)	女性専門外来 (予約のみ)	伊東友弘 (内科腫瘍)	緒方浩頭 (内科腎臓)	成島道昭 (内科)	伊東友弘 (第4休診) (内科腫瘍)	緒方浩頭 (内科腎臓)	緒方浩頭 (内科腎臓)	
内 科(25-7)		成島道昭 (内科)	辻 正富 (糖尿病、内分泌)	辻 正富 (糖尿病、内分泌)	伊藤英利 (内科)	竹島亜希子 (内科)	辻 正富 (糖尿病、内分泌)	辻 正富 (糖尿病、内分泌)	伊藤英利 (内科腎臓)		辻 正富 (糖尿病、内分泌)	
小 児 科	野中善治	神経外来	梅田 陽	乳児検診	北澤重孝	心臓外来	野中善治	成育外来	梅田 陽	乳児検診	医局員	
小 児 科	曾我恭司	予防接種	曾我恭司	フォアアップ 外来	梅田 陽	心臓外来 (1.3,4)	曾我恭司	アレルギー-外来	松岡 孝	フォアアップ 外来	医局員	
小 児 科	北澤重孝		野中善治	血液内科(4) 心理相談	京田学是		井上真理	口腔発達(2,3) 心理相談	京田学是	上村茂(心臓)	医局員	
小 児 外 科		杉山彰英		大橋祐介		五味 明		大橋祐介		杉山彰英	杉山彰英(奇) 医局員(偶)	
皮膚科(初16-3)	保坂浩臣		宋 寅傑		相楽 玲		三井湖麻江		宋 寅傑		医局員	
皮膚科(再16-1)		宋 寅傑							相楽 玲	光線療法外来		
皮膚科(再16-2)	相楽 玲	外科手術	三井湖麻江	外来手術	医局員	外科手術	医局員	外来手術	相楽 玲	外来手術	医局員	
皮膚科(再16-2)	三井湖麻江		保坂浩臣		三井湖麻江		保坂浩臣		保坂浩臣			
外 科	梶澤/中村 (第3以外)	中村明央	梶澤由博	杉本啓一(3)	新井一成		新井一成	井開雅一(偶) 岩波正英(3)	中村明央	岩波正英 (第2,4)	中村明央(奇) 新井一成(偶)	
外 科	梶澤由博(3)		福成信博		山崎智巳		梶澤由博	兼坂 茂 (予約のみ)	福成信博	福成信博	梶澤由博(奇) 山崎智巳(偶)	
外 科	福成信博 (1.2,4初)								梶澤由博			
形成外科	大塚尚治	美容外科ヒ-リソク			【手術日】		大塚尚治		手術日		高木信介	高木信介(奇) 大塚尚治(偶)
緩和ケア(麻酔科)(22-6)		岡本健一郎 (事前予約制)					岡本健一郎 (事前予約制)				岡本健一郎 (事前予約制)	
脳神経外科(初再診)	池田尚人 (診断書外来)		【手術日】		池田尚人 (退院後外来)		小林信介		池田尚人	小林信介	小林信介 池田尚人(偶)	
脳神経外科	小林信介								予 診		池田尚人(奇)	
整形外科	医局員 (初診外来)	医局員	西山嘉信	医局員	逸見範幸	医局員	西山嘉信	医局員/ 古槻(2,4)	逸見範幸	医局員	医局員	
整形外科	上原大志	キブス診 予約のみ	三雲 仁		清家直人	キブス診 予約のみ	三雲 仁		藤田将勝		医局員	
整形外科	川崎恵吉		大下優介		藤田将勝		川崎恵吉		大下優介			
産婦人科初診(12-7)	佐々木康(奇) 近藤哲郎(偶)		高橋 諱		高橋 諱		小川 公一 (医局員(奇))		小川 公一		医局員	
産婦人科産科(12-1)	吉江正紀		小川 公一		栗城亜具里		佐々木康		近藤哲郎			
産婦人科産科(12-6)	清河 翠			小山壽美江			斉藤佳実			特殊診 予約のみ		
産婦人科産科(12-8)	小川 公一		栗城亜具里	特殊診 予約のみ	佐々木康		高橋 諱		斉藤佳実	特殊診 予約のみ	医局員	
産婦人科産科(12-6)			近藤哲郎		吉江正紀				清河 翠			
産婦人科産科(12-6)										小山壽美江		
泌尿器科(初診11-1)	椎木一彦	椎木(検査) 予約のみ	青木慶一郎		初診代診	深澤(再診) 予約のみ	井上克己	佐藤直也(奇) 鈴木俊一(偶)	島田 誠		医局員 (初再診)	
泌尿器科(再診11-3)	島田 誠	島田(女性外来) 予約のみ	再診代診		青木慶一郎		椎木一彦	菅原(検査) 予約のみ	井上克己	松原英司 予約のみ		
泌尿器科(検査11-5)		特殊検査 予約のみ						特殊検査 予約のみ				
眼 科	井上吐州	特殊診(井上)	小池正直	特殊診(荻野)	井上吐州		小池正直	特殊診(小池)	井上吐州		小池正直(奇) 荻野 大(偶)	
眼 科	荻野 大		荻野 大	フォアアップ(小倉)	小倉寛嗣		小倉寛嗣	特殊診(小倉)	荻野 大	特殊診(荻野)	井上吐州(奇) 嶋田撰也(奇)	
眼 科	嶋田撰也	特殊診(嶋田)	嶋田撰也		嶋田撰也		嶋田撰也	特殊診(嶋田)	小倉寛嗣		小倉寛嗣(偶)	
耳鼻咽喉科13-1	門倉義幸 (初診)	耳鼻咽喉科外来 予約のみ	医局員 (紹介初診)		医局員 (初診)		山田良宣 (初診)	いびき外来 予約のみ	医局員 (初診)		医局員 (初診)	
耳鼻咽喉科13-2	山田良宣 (再診)	許 秀行 予約のみ			門倉義幸(再)		門倉義幸(再)	予約のみ				
耳鼻咽喉科13-3	野垣岳稔 (再診)						石田 良(再)					
耳鼻咽喉科13-3							補聴器外来K 予約のみ				補聴器外来 予約のみN	

放射線科の外来日は、月火不登： 随時随時開診です。

リハビリ科外来日は、火曜日午休： 随時随時開診です。

等-奇数週 偶-偶数週 数字-診察日 無